

ち きゅう おん だん か  
**大田区の地球温暖化と  
 学校生活で使う  
 電気について**  
 ~ごみから生まれる電気~



ち きゅう おん だん か ほう し  
**みんなができる地球温暖化防止**  
**「区民運動 おおたクールアクション」**



**電気のおだ使いはやめよう!**  
**ごみを減らそう!**  
**エコバックを持とう!**  
**長く大切に使えるものを選ぼう!**

©大田区

ち きゅう おん だん か ほう し  
**【ごみを減らすことも地球温暖化防止になります】**

**学校給食の生ごみリサイクルについて**

知っていますか? 学校の生ごみがなんと「家畜のえさ」に生まれ変わるんです!

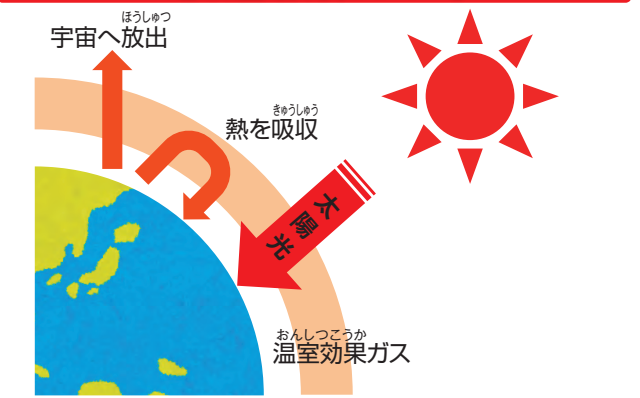


図はイメージです。  
 食材が直接的に区立小・中学校に提供されるものではありません。



令和4年12月発行  
 ■大田区環境清掃部

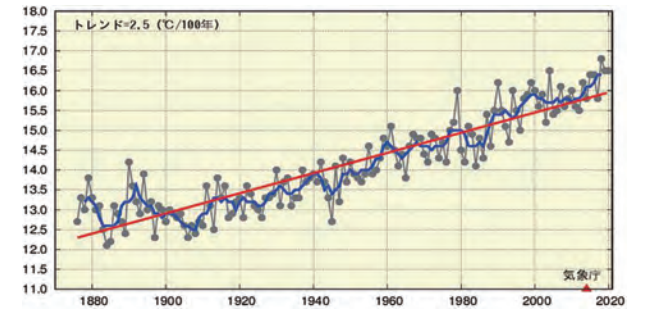
ち きゅう おん だん か  
**地球温暖化について**



二酸化炭素やメタンなどの「温室効果ガス」は、地球に届いた太陽の熱を逃さずに、私たちが暮らすのに適した温度を保つ役割をしています。

しかし、人間の活動によって、大量の温室効果ガスが大気中に放出されたことにより気温が上昇し、自然界のバランスを崩しています。これが「地球温暖化」です。

東京の平均気温は、過去100年間で上昇し続けています



ち きゅう おん だん か えい きょう きし ょ う ざ い が い  
**地球温暖化の影響とされる気象災害が増えています**



出典：国土地理院

2021年7月  
 静岡県熱海市の土石流

おん だん か えい きょう  
 温暖化の影響として、  
 他には何があるかな?



©大田区

# 大田区立 小・中学校では、“ごみ”から生まれた電気を使用しています！



電気は、私たちの暮らしになくはならないものです。しかし、そのほとんどは、石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料を燃やして発電しているため、大量の温室効果ガスを排出しています。

東京 23 区内の清掃工場では、学校や家庭などで排出されたごみを燃やし、その熱で発電しています。化石燃料を燃やす代わりに、ごみの“焼却熱”を有効利用しているため、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの発生が少ない電気です。

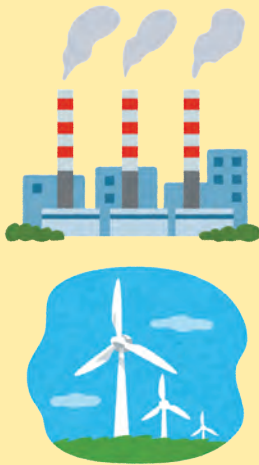
大田区では、地球温暖化防止のため、小・中学校で使用する電気を“ごみ”から発電した電気を使用しています。

## “ごみ”から生まれた電気は、“温室効果ガスの少ない”電気です！

### ■電気の作り方

電気は、“モノを燃やす”、“自然の力”を使うなど、いろいろな方法で作られています。

- ・ 火力発電
- ・ 水力発電
- ・ 太陽光発電
- ・ 風力発電
- ・ 地熱発電
- ・ バイオマス発電

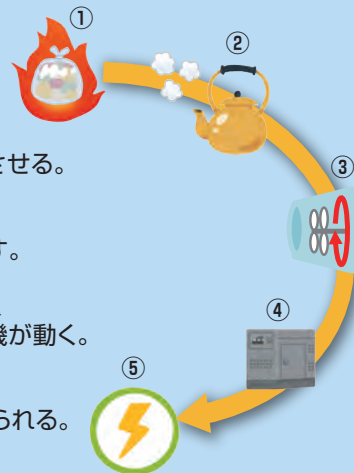


### ■ごみ発電

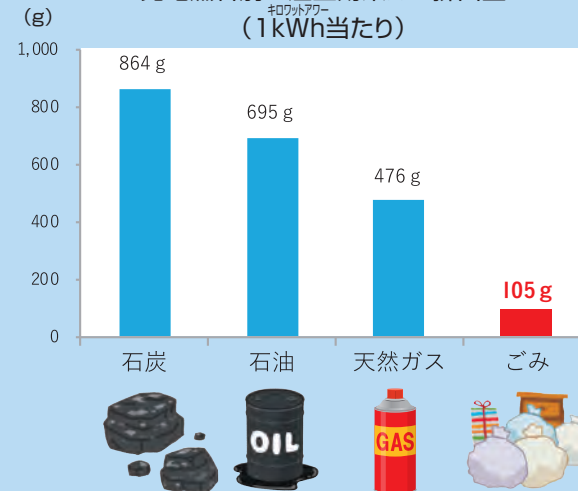
バイオマス発電のひとつに分類されます。

### ■仕組み

- ①ごみを燃やす。
- ②燃やした熱で蒸気を発生させる。
- ③蒸気力でタービンを回す。
- ④タービンの回る力で発電機が動く。
- ⑤発電機が動いて電気が作られる。



発電燃料別の温室効果ガス排出量 (1kWhあたり)



出典：ご存知ですか？ 私たちが使う電気環境性(東京都環境局)、東京エコサービス株式会社HPより作成